

スケルト 強度に関する参考資料

19-SLT02H-01

以下の表に示す強度基準を設定しています。

	項目	引用基準	内容
階段本体	鉛直強度	BLT SL-01(SL-02) 側板、段板の剛性・強度	中央集中荷重60(kgf)時の段板のたわみ量が段板の幅の1/300以下、250(kgf)時に破損が生じないこと。
	鉛直衝撃強度	BLT SL-03 段板の衝撃強度	段板の最も弱いと考えられる位置に、30(kg)の砂袋を高さ0.5mから3回落下させ、段板等に支障のないこと。
	鉛直耐久衝撃強度（※）	—	70(kg)の人間が急ぎの昇降で生じる衝撃力と同等の衝撃荷重が発生するように錘を自由落下させ、15万回の連続衝撃で部材に使用上支障のある変形、外れ、緩みが無いこと。
階段手すり	水平強度	BLT SL-05 手すりの水平強度	手すり中央部を加力点とし、外方向に水平荷重120(kgf)時において手すりが転倒、破損しないこと。
	鉛直強度	BLT SL-06 手すりの鉛直強度	手すり中央部を加力点とし、鉛直荷重120(kgf)時において手すりが破損しないこと。

（※）衝撃回数は1日に4人家族がそれぞれ5回昇降すると仮定し、20年間使用しても問題がないよう15万回と設定。

miratap